

令和4年(2022年)12月7日
廃棄物減量等推進審議会
【資料1】

ごみ処理基本計画の進行管理(令和3年度実績)(案)

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

— 未来へつなぐ“循環型都市よこすか”の創造 —

環境部 環境政策課

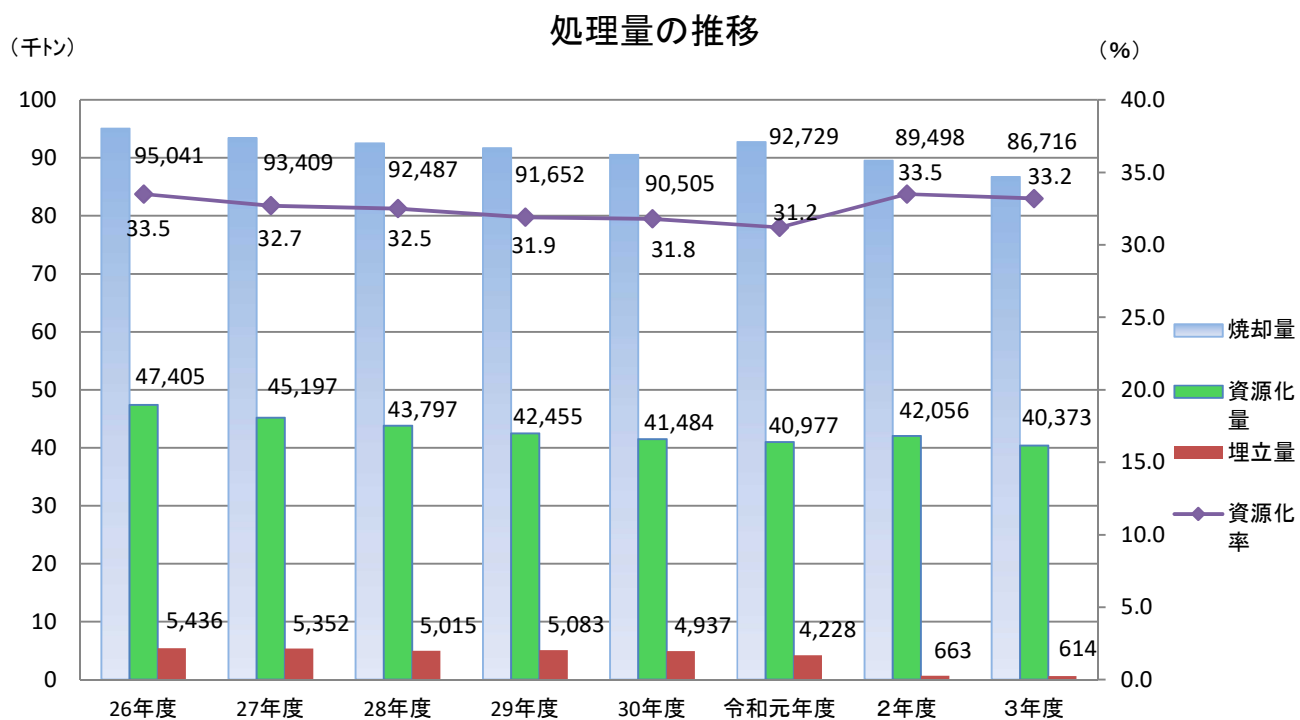
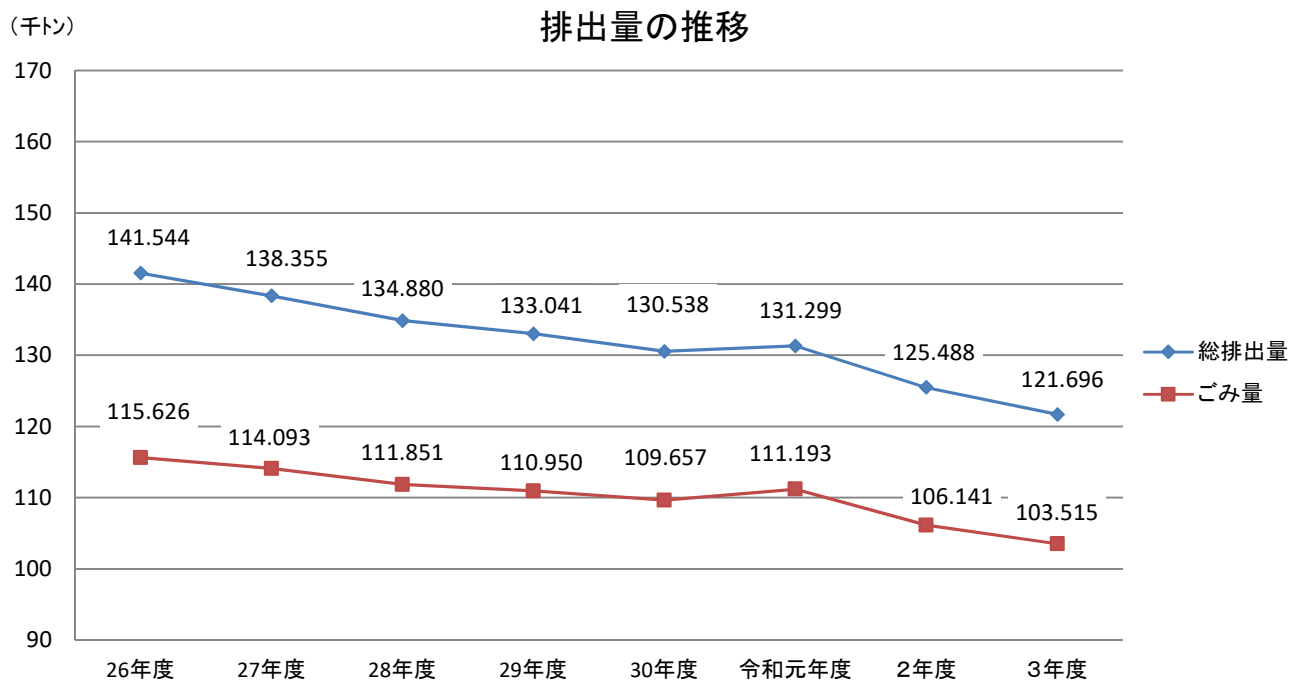
令和4年12月

ごみ処理基本計画の評価指標および実績値・目標値

項 目		単 位	平成27年度 (基準年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (実績値)	令和3年度 (目標値)	
循環型 社会 形成	排出量	総排出量	t/年	138,355	131,299	125,488	121,696	123,000
		ごみ量	t/年	114,093	111,193	106,141	103,515	100,000
		集団資源回収量	t/年	24,262	20,106	19,347	18,181	23,000
	1人1日排出量 ^{注1)}	g/人・日	750	758	731	719	695	
	1人1日総排出量 ^{注1)} (集団回収を含む)	g/人・日	910	895	864	846	855	
	処理量	焼却量 (焼却率)	t/年 (%)	93,409 (81.9%)	92,729 (83.4%)	89,498 (84.3%)	86,716 (83.8%)	82,400 (82.4%)
		埋立量 (埋立処分率)	t/年 (%)	5,352 (4.7%)	4,228 (3.8%)	663 (0.6%)	614 (0.6%)	1,700 (1.7%)
		資源化量	t/年	45,197	40,977	42,056	40,373	44,000
	資源化率	資源化率	%	32.7%	31.2%	33.5%	33.2%	36%
	経 済 性	注2) 処理単価	総処理経費	円/t	49,064	48,725	52,226	52,115
収集経費			円/t	27,073	28,430	31,331	30,863	—
中間処理経費			円/t	24,506	25,185	26,857	27,444	—
最終処分(埋立)経費			円/t	94,856	96,190	221,135	204,880	—
資源化経費			円/t	30,473	34,905	39,855	38,215	—
1人当たり年間処理経費			円/人・年	13,766	13,807	14,366	14,065	—
【参考】* 住民基本台帳人口 * 将来推計人口(H26年5月推計)		人	415,375 415,487	401,977 401,229	397,846 397,737	394,226 394,100	— 394,100	

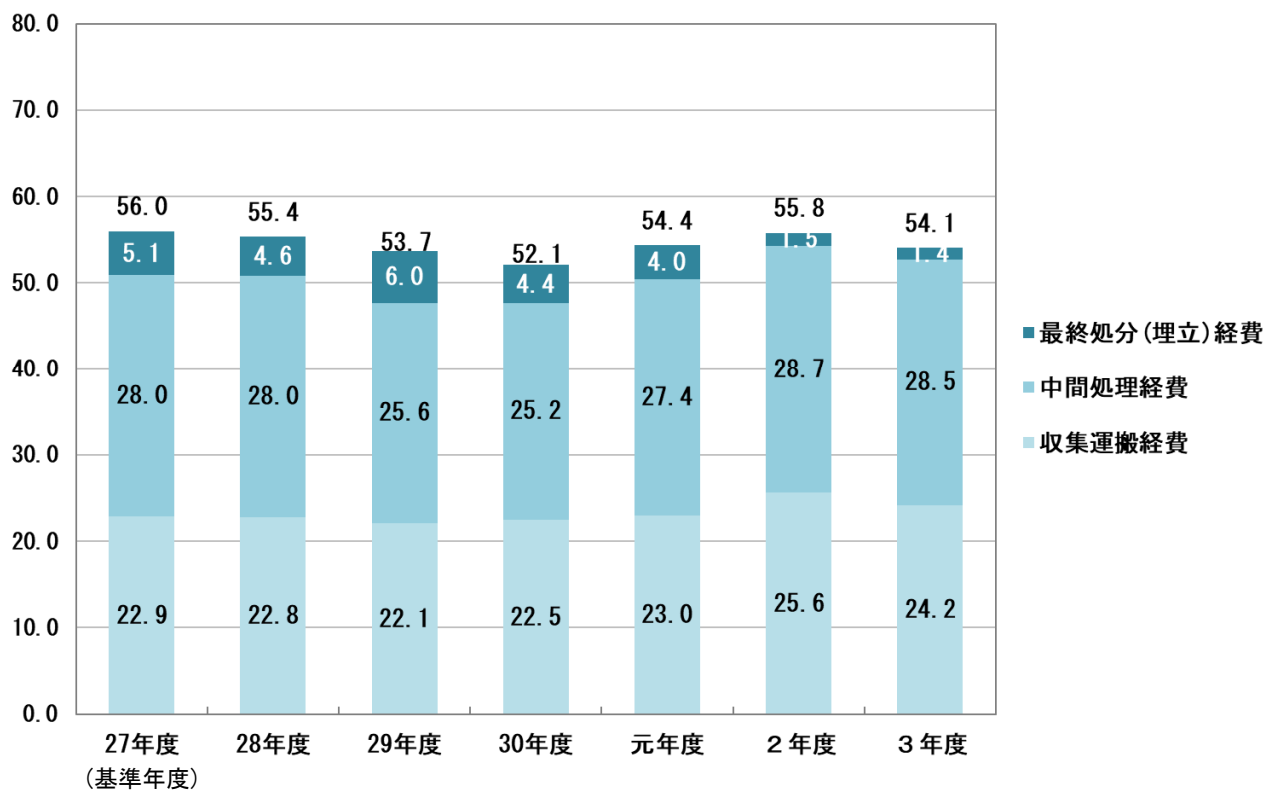
注1) 「1人1日排出量」及び「1人1日総排出量(集団回収を含む)」の実績は、「ごみ量」及び「総排出量」を「住民基本台帳人口」で割っているが、令和3年度(目標年度)は「将来推計人口」(横須賀市都市政策研究所にて推計)で割って算出している。

注2) 処理単価は、神奈川県一般廃棄物処理実績報告の作成基準に基づいて算出している。また、平成27年度～令和元年度の処理単価は、東日本大震災の影響により生じた追加的費用について東京電力損害賠償金を減額して算出している。



ごみ処理経費の推移

(億円/年)



(注) ごみ処理経費は、令和元年度まで東京電力損害賠償金を減額して算出している。

【各経費の主な内訳】

- ・ 収集運搬経費…人件費（収集担当職員、一般職員※）、車両購入費、ごみ収集直営事業、ごみ収集委託事業、自動車管理事業 等
- ・ 中間処理経費…人件費（工場操作担当職員等、一般職員※）、リサイクルプラザ再資源化事業、南処理工場運営事業 等
- ・ 最終処分経費…人件費（一般職員※）、ごみ最終処分事業、長坂埋立地浄化センター管理事業 等

※一般職員の人件費は、収集運搬・中間処理・最終処分の各事業費の規模で按分して配分している。

ごみ処理基本計画 関連施策・事業等の実施状況

関連施策・事業等の体系

注) 評価基準 A : 実施している又は実施した。B1 : 一部実施している又は一部実施した。
B2 : 実施に向け準備を進めた。C : 実施していない。

基本施策	具体的施策	記載頁	担当課	評価		
1. 重点施策 《第1・3章》	(1) ごみ処理広域化計画による施設整備の推進	①横須賀ごみ処理施設の建設	29	環境政策課	A	
	(2) 継続的な減量化・資源化啓発事業の実施	①市民に対する分別啓発の推進	28	環境政策課	A	
		②事業者に対する分別啓発の促進	28	廃棄物対策課	A	
	(3) 植木剪定枝等、新規資源化策の実施	①植木剪定枝の資源化	29	広域処理センター	A	
		②その他新規資源化策の検討	30	環境政策課	A	
	2. ごみの発生・排出抑制のための方策 《第4章》	(1) 発生抑制 (リデュース)	①市民に対する発生抑制に関する啓発	33	環境政策課	A
②生ごみ等減量化処理機器の購入費補助			33	環境政策課	A	
③食品ロス削減に向けた取組み			33	環境政策課	A	
			33	廃棄物対策課	B2	
④事業者に対する発生抑制に関する啓発		33	廃棄物対策課	A		
		(2) 再使用 (リユース)	①再生家具の提供	33	環境施設課	C
②古本・古着市の開催			33	環境施設課	C	
(3) 再生利用 (リサイクル)		①庁舎内から出るごみの減量化・資源化の推進	34	環境政策課	A	
			②グリーン購入の推進	34	ゼロカーボン推進課	A
			③公共工事等における再生資源の使用	34	ゼロカーボン推進課	A
			④リサイクルに向けた事業者の取組み支援	34	廃棄物対策課	B2
(4) 周知・啓発		①ごみ教室の開催、啓発冊子の発行	35	環境政策課	A	
			②ごみ分別パンフレットや収集カレンダーの発行	35	環境政策課	A
			③外国人向け分別パンフレットの発行	35	環境政策課	A
			④ごみ分別アプリの配信	35	環境政策課	A
			⑤広報紙・ホームページによる周知・啓発	35	環境政策課	A
			⑥ごみトーク・ごみ問題学習会の開催	35	環境政策課	A
			⑦アイクルフェアの開催	35	環境施設課	C
			⑧市民と協働した啓発活動の実施	35	環境政策課	A
			⑨アイクル施設見学による周知・啓発	35	環境施設課	A
			⑩横須賀ごみ処理施設見学による適正処理の周知	35	広域処理センター	B2
			⑪事業系一般廃棄物多量排出事業者に対する指導	35	廃棄物対策課	A
			⑫ごみ集積所における排出指導	35	廃棄物対策課 久里浜収集事務所	A
(5) その他		①各リサイクル法に関する周知・啓発	35	環境政策課	A	
			35	廃棄物対策課	A	
			35	環境施設課	A	
②家庭ごみ有料化の検討		35	環境政策課	B2		
	③廃棄物処理手数料の検討	35	環境政策課	A		

注) 評価基準 A : 実施している又は実施した。B1 : 一部実施している又は一部実施した。
B2 : 実施に向け準備を進めた。C : 実施していない。

基本施策		具体的施策	記載頁	担当課	評価
3. 分別収集 と適正処理 《第5章》	(1) 分別収集区分	① ごみの種類・分別区分、排出方法の見直し	36	環境政策課	A
				廃棄物対策課	A
	(2) 収集運搬計画	① 直営委託区域	37	環境政策課	A
	(3) 中間処理計画	① 再資源化処理 (リサイクルプラザ“アイクル”) ② 焼却処理 (横須賀ごみ処理施設) ③ 不燃・粗大ごみ処理 (横須賀ごみ処理施設) ④ 民間施設における中間処理	39 40 40 40	環境施設課	A
				広域処理センター	A
				広域処理センター	A
				環境政策課 廃棄物対策課 久里浜収集事務所	A A A
	(4) 最終処分計画	① 最終処分	41	広域処理センター	A
(5) 施設整備状況	① 施設の長寿命化・延命化対策	43	環境施設課	C	
(6) 広域処理施設整備状況	① 横須賀ごみ処理施設の整備	43	環境施設課	A	
			広域処理センター	A	
4. その他 必要事項 《第6章》	(1) 計画の進行管理	① 計画の点検・評価・見直しの実施	47	環境政策課	A
	(2) 家庭ごみ有料化の検討	① 家庭ごみ有料化の検討	49	環境政策課	A
	(3) 高齢化社会対策	① 高齢者のごみ出し支援の検討	49	廃棄物対策課	A
	(4) 災害時の廃棄物対策	① 災害時の廃棄物処理体制の確保	50	環境政策課	A
	(5) 不法投棄対策	① 不法投棄防止対策の強化	52	廃棄物対策課	A
	(6) ポイ捨て防止及び路上禁煙	① ポイ捨て防止及び路上禁煙の徹底 ② クリーンよこすかの推進に関する事	52 52	環境政策課	A
				環境政策課	A
	(7) 海岸漂着ごみ	① 海岸漂着ごみの円滑処理	52	廃棄物対策課	A
	(8) 適正処理困難物・排出禁止物	① 適正処理困難物・排出禁止物の処理に関する指導	52	環境政策課	A
廃棄物対策課				A	
広域処理センター				A	
久里浜収集事務所				A	
(9) 制度改善要望	① 一般廃棄物の処理に関する制度改善要望	53	環境政策課	A	

関連施策・事業等の取組実績

1. 重点施策

(1) ごみ処理広域化計画による施設整備の推進

①横須賀ごみ処理施設の建設（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・平成21年3月に策定した「横須賀市三浦市ごみ処理広域化基本計画」、平成24年度に策定した「横須賀ごみ処理施設整備実施計画」に基づき、施設稼働に向けて各種工事等を引き続き実施し、令和2年3月から横須賀ごみ処理施設の本稼働を開始しました。

(2) 継続的な減量化・資源化啓発事業の実施

①市民に対する分別啓発の推進（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・人口減少等により、集団資源回収量は年々減少傾向にあります。が、「その他の紙」の回収促進に努めました。集団資源回収量は18,181トンでした。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
集団資源回収量	22,091ト	20,881ト	20,106ト	19,347ト	18,181ト

②事業者に対する分別啓発の促進（廃棄物対策課）

- ・事業者向けの食品ロス削減啓発ポスターを市内広報掲示板434、市施設25、本庁舎掲示板10か所に掲示しました。
- ・廃棄物の減量化・資源化を推進するため、事業系一般廃棄物多量排出事業者から事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書を220件受理し、集計結果をホームページで公表しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書の受理	215件	218件	224件	229件	220件

(3) 植木剪定枝等、新規資源化策の実施

①植木剪定枝の資源化（広域処理センター） 【令和3年度は資源循環久里浜事務所が担当】

- ・民間の資源化処理施設に持ち込みができない草等を、積替保管施設で受け入れるための運営方法等を検討し、令和2年1月より搬入を開始しました。

②その他新規資源化策の検討（環境政策課）【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・プラスチックの資源化等の新規資源化策について、情報収集を行いました。

2. ごみの発生・排出抑制のための方策

(1) 発生抑制（リデュース）

①市民に対する発生抑制に関する啓発（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・ごみ教室やごみトークの開催、ごみ分別パンフレットの発行などにより啓発を行いました（2. (4)①～⑥⑧⑫のとおり）。

②生ごみ等減量化処理機器の購入費補助（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・電気式生ごみ処理機101基、EM処理容器7基、コンポスト容器36基、小枝粉碎機13基の購入費を補助しました（購入費の1/2、限度額3万円）。

- ・広報よこすかへ掲載するなど、生ごみ等減量化処理機器の普及に努めました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
電気式生ごみ処理機	51基	65基	54基	104基	101基
EM処理容器	3基	1基	2基	5基	7基
コンポスト容器	23基	25基	26基	38基	36基
小枝粉碎機	6基	6基	15基	13基	13基

③食品ロス削減に向けた取組み（環境政策課）（廃棄物対策課）

【令和3年度は資源循環政策課、廃棄物対策課が担当】

- ・食品ロス組成調査を2回実施しました。
- ・ごみトークや子どもごみ教室などで、食品ロス削減について啓発しました。
- ・他都市の取組の情報収集を行いました。

④事業者に対する発生抑制に関する啓発（廃棄物対策課）

- ・事業者向けの食品ロス削減啓発ポスターを市内広報掲示板434、市施設25、本庁舎掲示板10か所に掲示しました。また、広報よこすかで周知しました。（再掲）
- ・廃棄物の減量化・資源化を推進するため、事業系一般廃棄物多量排出事業者から事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書を220件受理し、集計結果をホームページで公表しました。（再掲）

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書の受理	215件	218件	224件	229件	220件

(2)再使用（リユース）

①再生家具の提供（環境施設課） 【令和3年度は資源循環施設課が担当】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、アイクルフェアを中止したため、再生家具の提供はありませんでした。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
再生家具提供個数	136個	128個	55個	0個	0個

②古本・古着市の開催（環境施設課） 【令和3年度は資源循環施設課が担当】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、アイクルフェアを中止したため、古本・古着市はありませんでした。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
古本・古着市	3回	3回	2回	0回	0回

(3)再生利用（リサイクル）

①庁舎内から出るごみの減量化・資源化の推進（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・庁舎内から出る古紙及び廃蛍光管の資源化を継続して実施し、古紙 153,220 kg、廃蛍光管 2,730 kg（10,920本）を回収しました。
※本数は、1kgあたり4本に換算して算出

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
古紙	176,990kg	161,550kg	169,160kg	165,350kg	153,220kg
廃蛍光管	3,570 kg 14,280本	3,284 kg 13,136本	3,180kg 12,720本	2,872kg 11,488本	2,730kg 10,920本

②グリーン購入の推進（ゼロカーボン推進課） 【令和3年度は環境企画課が担当】

- ・「横須賀市グリーン購入調達方針」において、毎年、対象品目や判断基準を見直し、全庁的にグリーン購入の推進に取り組んでいます。対象品目 22 分野 99 品目で集計し、8 分野 34 品目で 90%以上を達成しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
グリーン購入	対象品目 20 分野 98 品目で集計し、8 分野 38 品目で 90%以上を達成	対象品目 20 分野 98 品目で集計し、5 分野 32 品目で 90%以上を達成	対象品目 19 分野 97 品目で集計し、9 分野 35 品目で 90%以上を達成	対象品目 22 分野 95 品目で集計し、5 分野 27 品目で 90%以上を達成	対象品目 22 分野 99 品目で集計し、8 分野 34 品目で 90%以上を達成

③公共工事等における再生資源の使用（ゼロカーボン推進課） 【令和3年度は環境企画課が担当】

- ・ 2 品目で 100%を達成しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
公共工事	2 品目で 100%を達成	1 品目で 100%を達成	3 品目で 100%を達成	3 品目で 100%を達成	2 品目で 100%を達成

④リサイクルに向けた事業者の取組み支援（廃棄物対策課）

- ・ 先進的な取組や優良事例の情報収集を行いました。

(4)周知・啓発

①ごみ教室の開催、啓発冊子の発行（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・ 子どもごみ教室を 47 回開催し 1,393 人が参加しました。
- ・ 児童用ごみ減量啓発冊子を 4,000 部作製しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
子どもごみ教室	37 回 2,129 人	42 回 2,690 人	43 回 2,843 人	44 回 2,060 人	47 回 1,393 人
啓発冊子	4,500 部作製	3,800 部作製	4,000 部作製	4,000 部作製	4,000 部作製

②ごみ分別パンフレットや収集カレンダーの発行（環境政策課）

【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・ 分別収集カレンダー220,000 部作製、パンフレット 25,000 部作製しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
分別収集カレンダー	220,000 部作製	220,000 部作製	220,000 部作製	220,000 部作製	220,000 部作製
パンフレット	25,000 部作製	作製なし	225,000 部作製	14,000 部作製	25,000 部作製

③外国人向け分別パンフレットの発行（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・ 英語 5,000 部作製しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
英語版	4,000 部作製	4,000 部作製	9,000 部作製	3,000 部作製	5,000 部作製
中国語、韓国語版	各 250 部作製	各 350 部作製	各 350 部作製	各 500 部作製	作製なし
スペイン語、ポルトガル語版	各 250 部作製	各 150 部作製	各 150 部作製	各 500 部作製	作製なし

④ごみ分別アプリの配信（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・スマートフォン用ごみ分別アプリのダウンロード数は、5,447でした。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
ダウンロード数	4,818	5,009	8,409	7,768	5,447

⑤広報紙・ホームページによる周知・啓発（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・広報よこすかに8回、12件を掲載しました。
- ・HP「ごみデータ in よこすか」を毎月更新し、ごみ量の推移を周知しました。
- ・教育委員会からポスター等の募集自粛の要請により、ポスター・標語の募集を行いませんでした。
- ・立て看板、ポスター、懸垂幕、横断幕等による啓発を実施しました（6月、10月各1か月間）

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
広報よこすか	12回 43件	11回 35件	11回 24件	12回 32件	8回 12件
ポスター	1,440点	1,447点	1,212点	0点	951点
標語	699点	545点	507点	0点	383点

⑥ごみトーク・ごみ問題学習会の開催（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・ごみトークを2回実施し、38人が参加しました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、ごみ問題学習会は実施を見合わせました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
ごみトーク	42回 2,665人	34回 2,469人	276回 11,539人	0回 0人	2回 38人
ごみ問題学習会	15回 288人	10回 173人	7回 128人	0回 0人	0回 0人

⑦アイクルフェアの開催（環境施設課） 【令和2年度はリサイクルプラザが担当】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、アイクルフェアは中止しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
アイクルフェア	3回 延べ8,000人	3回 延べ8,700人	2回 延べ5,300人	0回 0人	0回 0人

⑧市民と協働した啓発活動の実施（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・6月をクリーンよこすか推進月間とし、美化活動に延べ61,834人が参加しました。
- ・クリーンよこすか市民のつどいは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止しました。
- ・ごみダイエット推進員研修会及び施設見学会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見合わせました。
- ・6月に6日間、10月に7日間、ポイ捨て防止街頭キャンペーンを実施し104人が参加しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
クリーンよこすか推進月間における美化活動の実施	延べ91,971人	延べ94,140人	延べ86,023人	延べ39,857人	延べ61,834人
クリーンよこすか市民のつどい	547人	544人	419人	0人	0人
クリーンよこすか中央会議	687人	697人	490人	0人	
ごみダイエット推進員研修会	10回 245人	10回 183人	10回 250人	0回 0人	0回 0人

施設見学会	9回 128人	3回 51人	9回 158人	0回 0人	0回 0人
ポイ捨て防止街頭キャンペーン	290人	302人	240人	82人	104人

⑨アイクル施設見学による周知・啓発（環境施設課） 【令和3年度は資源循環施設課が担当】

- ・23団体、222人の見学者に対し、分別排出の周知に努めました。
- ・小学生のリサイクル学習は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
アイクル施設見学	137団体 7,668人	127団体 7,254人	137団体 7,398人	0団体 0人	23団体 222人
小学生のリサイクル学習	46校 3,149人	47校 3,069人	46校 2,908人	0校 0人	1校 48人

※小学生のリサイクル学習事業は中止したが、1校48人が見学している。

⑩横須賀ごみ処理施設見学による適正処理の周知（広域処理センター）

- ・横須賀ごみ処理施設見学は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
横須賀ごみ処理施設見学	26団体 1,307人	18団体 1,058人	20団体 1,205人	0団体 0人	0団体 0人

⑪事業系一般廃棄物多量排出事業者に対する指導（廃棄物対策課）

- ・事業者向けの食品ロス削減啓発ポスターを市内広報掲示板434、市施設25、本庁舎掲示板10か所に掲示しました。
- ・廃棄物の減量化・資源化を推進するため、事業系一般廃棄物多量排出事業者から事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書を220件受理し、集計結果をホームページで公表しました。（再掲）

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書の受理	215件	218件	224件	229件	220件

⑫ごみ集積所における排出指導（廃棄物対策課）（久里浜収集事務所）

【令和3年度は廃棄物対策課、資源循環久里浜事務所が担当】

- ・市民等への分別排出指導を344件、ごみ集積所の新設・移設等を231件実施しました。
- ・ごみ収納ボックスを323台・カラス除けネットを2,353枚配付しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
市民等への分別排出指導	309件	446件	356件	357件	344件
ごみ集積所の新設・移設等	253件	239件	267件	268件	231件
ごみ収納ボックス	486台	480台	361台	368台	323台
カラス除けネット	2,456枚配付	2,401枚配付	2,224枚配付	2,382枚配付	2,353枚配付

(5) その他

①各リサイクル法に関する周知・啓発（環境政策課）（廃棄物対策課）（環境施設課）

【令和3年度は資源循環政策課、廃棄物対策課、資源循環施設課が担当】

- ・パンフレット、HP掲載等による周知・啓発を継続実施しました。

②家庭ごみ有料化の検討（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・全国自治体の有料化導入状況の調査、県内で導入を検討している自治体の情報収集を行いました。ごみの減少傾向が進んでいることから、当面導入の予定はありませんが、将来的な検討の必要性を考慮して引き続き調査を行いました。

③廃棄物処理手数料の検討（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・他都市の廃棄物処理手数料の状況を調査しました。
- ・消費税の改定に伴い、粗大ごみ処理手数料と小動物処理手数料を改定しました。

3. 分別収集と適正処理

(1) 分別収集区分

①ごみの種類・分別区分、排出方法の見直し（環境政策課）（廃棄物対策課）

【令和3年度は資源循環政策課、廃棄物対策課が担当】

- ・令和2年1月から横須賀ごみ処理施設の稼働に伴い、主に不燃ごみに分別されていたプラスチック・ゴム製品の分別区分を燃せるごみに変更しました。
- ・令和元年11月から事業系剪定枝の搬入先を市の焼却施設から民間の資源化処理施設品変更しました。

(2) 収集運搬計画

①直営委託区域（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・区域に変更はなく、引き続き、14地区を委託収集区域として定日ごみ収集を行いました。世帯割合は、直営収集区域 37.0%、委託収集区域 63.0%（令和2年10月1日現在）でした。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
直営収集区域	36.9%	36.8%	36.9%	37.0%	37.0%
委託収集区域	63.1%	63.2%	63.1%	63.0%	63.0%

(3) 中間処理計画

①再資源化处理（環境施設課） 【令和3年度は資源循環施設課が担当】

- ・缶・びん・ペットボトル、容器包装プラスチック、集団資源回収品目（段ボール・紙パック・その他の紙）について、容器包装リサイクル法に基づく中間処理（選別・圧縮または圧縮梱包）を行い、再資源化しました。搬入量は18,003トン、資源化量は17,824トンでした。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
搬入量	19,053トン	18,786トン	18,484トン	18,484トン	18,003トン
資源化量	18,613トン	18,227トン	17,785トン	18,092トン	17,824トン

②焼却処理（広域処理センター）

- ・燃せるごみとして収集・直接搬入されたごみのほか、不燃ごみ等選別施設で処理した後の可燃性残さ等を焼却し、最終処分するごみの減容、及び衛生的処理を行いました。搬入量は95,833トン、焼却量は90,737トンでした。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
搬入量	99,431トン	98,173トン	101,055トン	98,622トン	95,833トン
焼却量	89,338トン	91,555トン	93,645トン	94,455トン	90,737トン

③不燃・粗大ごみ処理（広域処理センター）

- ・収集・直接搬入された不燃ごみと粗大ごみを形状や材質等に応じて処理し、可燃性残さは焼却、不燃性残さは埋立、鉄類は磁選機で資源物として回収しました。搬入量は、6,134 トン、処理量は 5,966 トンでした。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
搬入量	3,233 トン	3,472 トン	4,190 トン	6,272 トン	6,134 トン
処理量	3,186 トン	3,383 トン	4,648 トン	6,315 トン	5,966 トン

※H28 年度～R1 年度の搬入量及び処理量は粗大ごみ分のみであるが、R2 年度・R3 年度の搬入量及び処理量は不燃ごみ分と粗大ごみ分の合計値である。

④民間施設における中間処理（環境政策課）（廃棄物対策課）（久里浜収集事務所）

【令和 3 年度は資源循環政策課、廃棄物対策課が担当】

- ・店頭等で拠点回収した使用済み乾電池 98 トン、水銀使用廃製品（体温計、温度計、血圧計）938 個を民間処理施設へ処理委託しました。
- ・市内 16 か所の公共施設等でボックス回収した使用済み小型家電 53 トンを、国の認定を受けた再資源化事業者へ引き渡しました。
- ・アィクル搬入分を除く集団資源回収 13,458 トンは、資源回収協同組合により有価物として直接売却されました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
使用済み乾電池	99 トン	92 トン	96 トン	114 トン	98 トン
水銀使用廃製品	1,452 個	715 個	654 個	1,340 個	938 個
使用済み小型家電	16 トン	20 トン	24 トン	55 トン	53 トン
集団資源回収 (アィクル搬入分を除く)	17,292 トン	16,224 トン	15,520 トン	14,406 トン	13,458 トン

(4)最終処分計画

①最終処分（広域処理センター）

- ・不燃ごみと粗大ごみを不燃ごみ等選別施設で処理し、不燃性残さを三浦市最終処分場に搬出し埋め立て処理を行いました。埋立量は 672 トン、破碎不適物処分量は 73 トンでした。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
埋立量	5,083 トン	4,937 トン	3,981 トン	731 トン	672 トン
破碎不適物処分量	20 トン	15 トン	41 トン	36 トン	73 トン

(5)施設整備状況

①施設の長寿命化・延命化対策（環境施設課） 【令和 3 年度は資源循環施設課が担当】

- ・本年度、該当工事はありませんでした。

(6)広域処理施設整備状況

①横須賀ごみ処理施設の整備（環境施設課）（広域処理センター）

【令和 3 年度は資源循環施設課、広域処理センターが担当】

- ・広域処理センター防風対策工事及び広域処理センター焼却施設防鳥対策工事を実施しました。
- ・「横須賀ごみ処理施設運営協議会」と協議を実施しました。

4. その他必要事項

(1) 計画の進行管理

①計画の点検・評価・見直しの実施（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・令和2年度実績を基に、計画の数値目標などの達成状況について評価を実施しました。

(2) 家庭ごみ有料化の検討

①家庭ごみ有料化の検討（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・全国自治体の有料化導入状況の調査、県内で導入を検討している自治体の情報収集を行いました。ごみの減少傾向が進んでいることから、当面導入の予定はありませんが、将来的な検討の必要性を考慮して引き続き調査を行いました。

(3) 高齢化社会対策

①高齢者のごみ出し支援の検討（廃棄物対策課）

- ・福祉部主管の会議・研修に出席して情報収集し、ごみ出し支援の方法について、福祉部と検討を重ねました。
- ・令和元年6月1日から高齢者等支援収集事業を実施しました。

(4) 災害時の廃棄物対策

①災害時の廃棄物処理体制の確保（環境策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会が実施した研修会等に参加し、情報収集を行いました。
- ・災害廃棄物の仮置場設置・運用訓練を実施しました。

(5) 不法投棄対策

①不法投棄防止対策の強化（廃棄物対策課）

- ・パネル展を10か所で開催、警察との合同パトロールを7回実施、移動式監視カメラの活用をしました。
- ・巡回調査等を延べ19,492か所実施し、処理量は36.26トンでした。
- ・不法投棄防止対策として夜間監視パトロールを5日間実施しました。
- ・不法投棄多発地域10か所に環境ポスターを掲出しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
パネル展	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所
警察との合同パトロール	11回	11回	11回	8回	7回
広報掲示板へポスター掲出	435か所	—	—	434か所	—
巡回調査等	延べ21,667か所 46.68トン	延べ23,024か所 49.14トン	延べ23,050か所 44.42トン	延べ21,072か所 46.66トン	延べ19,492か所 36.26トン
夜間監視パトロール	2日間	10日間	10日間	10日間	5日間
不法投棄多発地域への環境ポスター掲出	6か所	7か所	10か所	10か所	10か所

(6)ポイ捨て防止及び路上禁煙

①ポイ捨て防止及び路上禁煙の徹底（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、ごみゼロ啓発キャンペーンは実施を見合わせました。
 - ・巡回指導を259回、喫煙中止指導を105件実施しました。
- なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、喫煙中止指導を時期により見合わせています。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
巡回指導	258回	260回	241回	259回	259回
喫煙中止指導	208件	241件	245件	301件	105件

②クリーンよこすかの推進に関すること（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・キャラバン隊キャンペーン等を42コース実施し、715人が参加しました。
- ・イベントにおける清掃活動等を13回実施し、104人が参加しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
キャラバン隊キャンペーン等	82コース 1,911人	105コース 2,025人	87コース 2,618人	64コース 886人	42コース 715人
イベントにおける清掃活動等	23回 1,299人	21回 1,064人	20回 1,053人	8回 125人	13回 104人

(7)海岸漂着ごみ

①海岸漂着ごみの円滑処理（廃棄物対策課）

- ・（公財）かながわ海岸美化財団により海浜地清掃を実施し、処理量は127,359kgでした。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
処理量	89,375kg	90,922kg	193,583kg	102,495kg	127,359kg

(8)適正処理困難物・排出禁止物

①適正処理困難物・排出禁止物の処理に関する指導（環境政策課）（廃棄物対策課）（広域処理センター）（久里浜収集事務所）

【令和3年度は資源循環政策課、廃棄物対策課、広域処理センター、資源循環久里浜事務所が担当】

- ・各施設の実態を考慮し、受け入れる一般廃棄物の追加・削除品目を検討する等、受入基準の見直しを行いました。
- ・市民からの問い合わせや持込み時に適正処理困難物・排出禁止物の指導を行いました。

(9)制度改善要望

①一般廃棄物の処理に関する制度改善要望（環境政策課） 【令和3年度は資源循環政策課が担当】

- ・県市長会、神都清、全都清などを通じて、一般廃棄物の適正処理に関する制度改善要望18件（延べ21件）を国・県に提出しました。

参考指標	H29	H30	R1	R2	R3
改善要望	12件 (延べ17件)	14件 (延べ19件)	14件 (延べ19件)	18件 (延べ21件)	18件 (延べ21件)

総合評価

「横須賀市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」（平成 29 年度～令和 3 年度）の進行管理は、平成 27 年度実績に基づき設定した目標値の達成状況と、重点施策および関連施策・事業等の実施状況についての評価により実施します。

令和 3 年度のごみ総排出量は 121,696 トンであり、昨年度（令和 2 年度）実績と比較して 3.0%、基準年度（平成 27 年度）実績と比較すると 12.0%減少し、目標値（123,000 トン）を達成しました。

しかし、集団資源回収量は 18,181 トンで、基準年度（平成 27 年度）実績と比較して 25.1%減少し、目標値（23,000 トン）を達成することができませんでした。

処理量については、焼却量が 86,716 トンで、基準年度（平成 27 年度）実績と比較して 7.2%減少していますが、目標値（82,400 トン）を達成することができませんでした。

埋立量は 614 トンで、基準年度（平成 27 年度）実績と比較して 88.5%減少し、目標値（1,700 トン）を達成することが出来ました。横須賀ごみ処理施設において、不燃ごみを破碎・選別して金属等を取り出し、埋め立てが必要な不燃残さを減らしたことで、埋立量が大幅に減少しました。

資源化率は 33.2%で、基準年度（平成 27 年度実績）と比較して 0.5%上昇しましたが、目標値（36.0%）を達成することはできませんでした。

重点施策に掲げていた横須賀ごみ処理施設の建設については、令和 2 年 3 月より本稼働を開始し、順調に稼働しています。また、令和元年 11 月より事業系剪定枝の資源化を開始し、民間資源化施設に持ち込みができない草等についても、市の施設に搬入後、資源化しています。

今回の計画では、ごみの総排出量は削減したものの、集団資源回収の目標水準を維持することが出来ず、資源化率も基準年度よりは上昇しましたが、目標達成には至りませんでした。

今後は引き続き安定したごみ処理を目指すとともに、新しい計画においてもごみの排出量や資源化率の目標値を設定しているため、目標達成に向けてごみの減量化・資源化に努めます。

◎ ごみ処理実績について

1 排出量

(1) 種別別排出量

単位：トン

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	3年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
燃せるごみ		88,469	87,213	88,862	84,395	82,333	△ 2,062	△ 2.4%
不燃ごみ		5,105	5,034	4,449	1,292	1,028	△ 264	△ 20.4%
資源ごみ		14,390	14,270	14,053	16,035	15,565	△ 470	△ 2.9%
	缶・びん・ペットボトル	6,522	6,311	6,171	6,304	6,176	△ 128	△ 2.0%
	容器包装プラスチック	7,746	7,835	7,747	7,268	7,010	△ 258	△ 3.5%
	乾電池等	111	115	122	157	150	△ 7	△ 4.5%
	枝草	-	-	-	2,292	2,216	△ 76	△ 3.3%
	その他	11	9	13	14	13	△ 1	△ 7.1%
粗大ごみ		2,986	3,140	3,829	4,419	4,589	170	3.8%
小計		110,950	109,657	111,193	106,141	103,515	△ 2,626	△ 2.5%
集団資源回収		22,091	20,881	20,106	19,347	18,181	△ 1,166	△ 6.0%
合計		133,041	130,538	131,299	125,488	121,696	△ 3,792	△ 3.0%

注) 枝草は、令和元年度まで燃せるごみ、令和2年度から資源ごみとして処理をしている。

(2) 収集等形態別排出量

単位：トン

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	3年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
定日収集		80,196	78,663	79,641	80,120	77,122	△ 2,998	△ 3.7%
	燃せるごみ	61,084	59,769	61,557	65,305	62,948	△ 2,357	△ 3.6%
	不燃ごみ	4,852	4,755	4,176	1,246	993	△ 253	△ 20.3%
	缶・びん・ペットボトル	6,516	6,305	6,165	6,302	6,172	△ 130	△ 2.1%
	容器包装プラスチック	7,744	7,834	7,743	7,267	7,009	△ 258	△ 3.6%
許可収集		20,443	20,611	20,192	18,007	18,428	421	2.3%
乾電池等収集		111	115	122	157	150	△ 7	△ 4.5%
粗大ごみ等収集		969	976	1,124	1,255	1,102	△ 153	△ 12.2%
臨時収集		817	816	904	616	624	8	1.3%
直接搬入		8,414	8,476	9,210	5,986	6,089	103	1.7%
小計		110,950	109,657	111,193	106,141	103,515	△ 2,626	△ 2.5%
集団資源回収		22,091	20,881	20,106	19,347	18,181	△ 1,166	△ 6.0%
合計		133,041	130,538	131,299	125,488	121,696	△ 3,792	△ 3.0%

(3) 他市受入れ量

単位：トン

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	3年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
三浦市 燃せるごみ		7,779	7,668	8,149	8,705	8,751	46	0.5%
三浦市 不燃ごみ		-	-	40	202	184	△ 18	△ 8.9%
三浦市 粗大ごみ		-	-	79	379	346	△ 33	△ 8.7%
三浦市 容器包装プラスチック		-	-	-	-	117	117	100.0%
三浦市 合計		7,779	7,668	8,268	9,286	9,398	112	1.2%
千葉県 災害ごみ		-	-	115	-	-	-	-

2 処分量（処理施設搬入量）

単位：トン

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	3年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
焼却施設		99,431	98,173	101,055	98,622	95,833	△ 2,789	△ 2.8%
不燃ごみ等選別施設（不燃）		5,105	5,034	4,489	1,497	1,218	△ 279	△ 18.6%
不燃ごみ等選別施設（粗大）		3,233	3,472	4,190	4,775	4,916	141	3.0%
資源化施設		19,053	18,786	18,484	18,484	18,003	△ 481	△ 2.6%
積替保管施設（枝草等）		-	-	176	2,351	2,269	△ 82	△ 3.5%
直接資源化		16,991	15,975	15,282	13,920	13,382	△ 538	△ 3.9%
合計		143,813	141,440	143,676	139,649	135,621	△ 4,028	△ 2.9%

注） 資源化施設処分量には、リサイクルプラザに搬入される集団資源回収（段ボール、紙パック、その他の紙）を含む。

3 資源化量

単位：トン

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	3年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
リサイクルプラザ		18,227	17,785	17,785	18,092	17,824	△ 268	△ 1.5%
集団資源回収		15,834	15,127	15,127	13,720	13,196	△ 524	△ 3.8%
焼却灰スラグ化ほか		6,945	7,517	7,517	7,843	7,022	△ 821	△ 10.5%
粗大金属ほか		478	843	843	1,130	1,078	△ 52	△ 4.6%
枝草		-	-	-	2,081	2,105	24	1.2%
合計		42,455	41,484	41,272	42,866	41,225	△ 1,641	△ 3.8%

注） 集団資源回収のうち段ボール、紙パック、その他の紙はプラザの資源化に含む。

4 資源化率

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	3年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
資源化率		31.9%	31.8%	31.4%	33.5%	33.2%	△ 0.3%	-
県内平均資源化率		24.4%	24.3%	24.1%	24.9%		-	-
全国平均資源化率		20.2%	19.9%	19.6%	20.0%		-	-

注） 資源化率（%）＝【資源化量】÷【排出量合計（集団資源回収量を含む）】×100

5 1人1日排出量

単位：グラム

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	3年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
集団回収を除く		742	740	758	731	719	△ 12	△ 1.6%
集団回収を含む		890	881	895	864	846	△ 18	△ 2.1%

【参考】

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人口（人）		409,478	406,003	401,977	397,846	394,226
世帯数（世帯）		191,026	191,542	191,703	191,827	192,471

注） 人口及び世帯数は10月1日現在の住民基本台帳による。

【参考】

神奈川県一般廃棄物処理実績報告の定義に基づく生活系、事業系ごみの内訳

1 生活系ごみについて

(1) 排出量

単位：トン

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	3年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
可燃ごみ		61,120	59,792	61,611	65,345	62,993	△ 2,352	△ 3.6%
不燃ごみ		4,855	4,757	4,176	1,246	993	△ 253	△ 20.3%
資源ごみ		14,396	14,280	14,063	13,769	13,367	△ 402	△ 2.9%
粗大ごみ		2,933	3,085	3,745	4,370	4,537	167	3.8%
小計		83,304	81,914	83,595	84,730	81,890	△ 2,840	△ 3.4%
集団回収量		21,631	20,467	19,682	18,621	17,885	△ 736	△ 4.0%
合計		104,935	102,381	103,277	103,351	99,775	△ 3,576	△ 3.5%

注) 概ね、定日収集、粗大ごみ(収集・直接搬入)、乾電池等収集、集団資源回収の合計。

(2) 1人1日排出量

単位：グラム

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	3年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
集団回収を含む		702	691	704	712	693	△ 18	△ 2.6%

2 事業系ごみについて

(1) 排出量

単位：トン

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	3年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
可燃ごみ		27,786	27,811	27,644	19,736	19,602	△ 134	△ 0.7%
不燃ごみ		250	277	273	46	35	△ 11	△ 23.9%
資源ごみ		17	14	21	2,306	2,232	△ 74	△ 3.2%
粗大ごみ		53	55	84	49	52	3	6.1%
合計		28,106	28,157	28,022	22,137	21,921	△ 216	△ 1.0%

注1) 概ね、許可収集、直接搬入(燃せるごみ・不燃ごみ・資源ごみ)の合計。

直接搬入分は、集計の都合上、一部市民からの持ち込み分を含む。

注2) 枝草は、令和元年度まで燃せるごみ、令和2年度から資源ごみとして処理をしている。

令和3年度ごみ排出量及び資源化量の内訳

ごみの種類	排出量 (トン)		資源物	資源化量(トン)	資源化率
燃せるごみ	82,333	»	焼却灰 (溶融スラグ)	6,355	5.22%
不燃ごみ	1,028	»	金属チップ(鉄)	660	0.54%
			金属チップ(アルミ)	39	0.03%
粗大ごみ	4,589		粗大金属	114	0.10%
			家具	0	0.00%
缶・びん・ペット ボトル	6,176	»	スチール缶	569	0.47%
			アルミ缶	826	0.68%
			びん(無色、茶色、 その他の色)	1,872	1.54%
			ペットボトル	1,605	1.32%
			ガラス残さ	982	0.81%
容器包装プラス チック	7,010	»	容器包装プラス チック	7,119	5.85%
段ボール、紙パッ ク、その他の紙	4,700	»	段ボール	3,905	3.21%
			紙パック	65	0.05%
			その他の紙	772	0.64%
乾電池、充電式電 池、小型家電	150	»	乾電池	98	0.08%
			充電式電池	2	0.00%
			小型家電	53	0.05%
枝草	2,216	»	枝草	2,105	1.73%
新聞、雑誌、古着 類、その他金属	13,460	»	新聞、雑誌、古着 類・その他金属	13,198	10.85%
蛍光管類	34	»	蛍光管類	34	0.03%
合 計	121,696		合 計	40,373	33.2%

* 令和3年度 資源化率は、 $40,373 \div 121,696 \times 100 = 33.2\%$

県内19市の資源化率と原単位(1人1日排出量)

『神奈川県一般廃棄物処理事業の概要』を基に作成

令和元年度 (2019年度)			令和2年度 (2020年度)		
資源化率	原単位	集団回収を含む原単位	資源化率	原単位	集団回収を含む原単位
1. 鎌倉 52.6%	1. 逗子 701g	1. 座間 725g	1. 鎌倉 53.2%	1. 藤沢 698g	1. 座間 721g
2. 逗子 47.5%	2. 座間 713g	2. 大和 788g	2. 逗子 48.1%	2. 逗子 701g	2. 海老名 735g
3. 三浦 36.0%	3. 横浜 729g	3. 海老名 791g	3. 海老名 36.1%	3. 座間 712g	3. 大和 785g
4. 海老名 33.7%	4. 川崎 729g	4. 川崎 795g	4. 三浦 34.8%	4. 横浜 715g	4. 茅ヶ崎 793g
5. 横須賀 31.2%	5. 藤沢 730g	5. 綾瀬 796g	5. 横須賀 33.8%	5. 川崎 734g	5. 綾瀬 793g
6. 秦野 30.3%	6. 伊勢原 744g	6. 茅ヶ崎 798g	6. 座間 32.0%	6. 伊勢原 734g	6. 川崎 800g
7. 座間 30.2%	7. 横須賀 774g	7. 秦野 810g	7. 藤沢 30.9%	7. 海老名 735g	7. 伊勢原 812g
8. 藤沢 29.6%	8. 大和 788g	8. 伊勢原 817g	8. 綾瀬 30.7%	8. 横須賀 754g	8. 横浜 823g
9. 綾瀬 28.2%	9. 海老名 791g	9. 横浜 841g	9. 秦野 30.3%	9. 大和 785g	9. 秦野 827g
10. 大和 25.5%	10. 綾瀬 796g	10. 逗子 845g	10. 大和 26.8%	10. 茅ヶ崎 793g	10. 藤沢 836g
11. 平塚 25.3%	11. 茅ヶ崎 798g	11. 藤沢 864g	11. 平塚 26.4%	11. 綾瀬 793g	11. 平塚 850g
12. 厚木 25.3%	12. 秦野 802g	12. 相模原 868g	12. 厚木 25.5%	12. 秦野 821g	12. 逗子 851g
13. 南足柄 24.1%	13. 相模原 853g	13. 平塚 877g	13. 南足柄 24.5%	13. 平塚 850g	13. 相模原 865g
14. 横浜 22.9%	14. 平塚 877g	14. 南足柄 887g	14. 横浜 23.5%	14. 相模原 852g	14. 厚木 867g
15. 小田原 22.3%	15. 南足柄 887g	15. 厚木 898g	15. 茅ヶ崎 22.7%	15. 厚木 867g	15. 横須賀 886g
16. 茅ヶ崎 21.3%	16. 厚木 898g	16. 横須賀 911g	16. 伊勢原 22.2%	16. 南足柄 897g	16. 南足柄 897g
17. 伊勢原 21.3%	17. 鎌倉 922g	17. 鎌倉 922g	17. 小田原 21.8%	17. 鎌倉 959g	17. 鎌倉 959g
18. 相模原 19.9%	18. 三浦 978g	18. 小田原 989g	18. 相模原 20.4%	18. 三浦 961g	18. 小田原 970g
19. 川崎 18.7%	19. 小田原 989g	19. 三浦 1,007g	19. 川崎 19.1%	19. 小田原 970g	19. 三浦 976g
19市平均	24.1%	841g	24.9%	757g	830g
県内平均	24.1%	775g	24.9%	765g	836g
全国数値	19.6%	877g	20.0%	865g	901g

注) 神奈川県一般廃棄物処理実績報告の原単位は、「推計人口」を用いているため、本市のごみ処理実績の1人1日排出量(17ページ)と一致しない。

全国の資源化率（人口10万人以上50万人未満）

令和2年度			
順位	県名	市名	資源化率（%）
1	神奈川県	鎌倉市	52.7
2	東京都	小金井市	46.0
3	岡山県	倉敷市	44.3
4	東京都	国分寺市	41.6
5	埼玉県	加須市	38.4
6	東京都	東村山市	36.7
7	愛知県	小牧市	36.2
8	東京都	立川市	35.9
9	東京都	調布市	35.7
10	東京都	西東京市	33.8
11	神奈川県	横須賀市	33.5
12	東京都	武蔵野市	33.1
13	埼玉県	朝霞市	32.7
14	東京都	府中市	32.3
15	東京都	東久留米市	32.0
16	東京都	三鷹市	31.7
17	東京都	昭島市	31.5
18	山口県	岩国市	31.3
19	北海道	苫小牧市	30.8
20	神奈川県	藤沢市	30.7

* 「一般廃棄物処理実態調査結果」（令和4年3月 環境省）を基に作成

* 人口10万人以上50万人未満の236自治体中17位

県内19市のごみ処理経費(令和2年度実績)

『神奈川県一般廃棄物処理事業の概要』を基に作成

総処理経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	綾瀬市	24,345
2	横浜市	33,431
3	川崎市	35,008
4	平塚市	35,078
5	座間市	35,263
6	相模原市	37,684
7	南足柄市	38,125
8	海老名市	38,386
9	秦野市	40,144
10	小田原市	41,601
11	茅ヶ崎市	43,944
12	伊勢原市	45,161
13	厚木市	47,516
14	大和市	49,826
15	三浦市	50,656
16	横須賀市	52,226
17	鎌倉市	53,330
18	藤沢市	58,658
19	逗子市	67,283
19市合計(1ト当たり)		38,554

収集経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	小田原市	18,509
2	南足柄市	20,835
3	秦野市	21,267
4	逗子市	21,959
5	相模原市	22,132
6	綾瀬市	22,794
7	平塚市	24,542
8	川崎市	25,204
9	伊勢原市	26,039
10	茅ヶ崎市	26,876
11	鎌倉市	27,897
12	座間市	27,932
13	横浜市	28,129
14	三浦市	30,296
15	横須賀市	31,331
16	大和市	32,272
17	海老名市	33,945
18	厚木市	34,080
19	藤沢市	47,264
19市合計(1ト当たり)		27,706

中間処理経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	綾瀬市	4,921
2	横浜市	8,599
3	座間市	11,083
4	海老名市	12,635
5	南足柄市	12,056
6	川崎市	14,344
7	平塚市	15,246
8	茅ヶ崎市	17,044
9	秦野市	18,952
10	厚木市	19,124
11	伊勢原市	19,421
12	相模原市	21,330
13	小田原市	23,285
14	藤沢市	23,454
15	三浦市	23,882
16	大和市	25,582
17	横須賀市	26,857
18	鎌倉市	30,489
19	逗子市	44,231
19市合計(1ト当たり)		15,046

最終処分(埋立) 経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	相模原市	5,758
2	川崎市	11,059
3	厚木市	34,871
4	横浜市	35,331
5	小田原市	46,182
6	茅ヶ崎市	50,722
7	大和市	67,345
8	秦野市	70,541
9	伊勢原市	72,128
10	南足柄市	75,620
11	平塚市	96,067
12	横須賀市	221,135
13	三浦市 <small>注1)</small>	1,060,368
14	藤沢市 <small>注1)</small>	1,343,874
15	鎌倉市 <small>注2)</small>	—
16	逗子市 <small>注2)</small>	—
17	海老名市 <small>注3)</small>	—
18	座間市 <small>注3)</small>	—
19	綾瀬市 <small>注3)</small>	—
19市合計(1ト当たり)		31,966

1人当たり年間処理経費

順位	市区町村名	1人当たり (円)
1	綾瀬市	7,050
2	横浜市	8,729
3	座間市	9,162
4	川崎市	9,380
5	海老名市	10,301
6	平塚市	10,884
7	相模原市	11,724
8	秦野市	12,023
9	伊勢原市	12,092
10	南足柄市	12,484
11	茅ヶ崎市	12,725
12	大和市	14,280
13	横須賀市	14,382
14	小田原市	14,728
15	藤沢市	14,941
16	厚木市	15,044
17	逗子市	17,214
18	三浦市	17,767
19	鎌倉市	18,672
19市合計(1ト当たり)		10,656

※推計人口数で算出

注1) 三浦市は、埋立量が68tと少なく、最終処分経費が72,105千円あり、藤沢市は、埋立量が111tと少なく、最終処分経費が149,170千円あるため単価が高くなっている。

注2) 鎌倉市と逗子市は不燃ごみを直接埋立てていないため、1ト当たりの経費を算出していない。

注3) 海老名市、座間市、綾瀬市は、3市で「高座清掃施設組合」を構成し、各市で組合分担金を支出しているが、組合金分担金は中間処理費に分類している。